吾妻公園
文化芸術施設
整備事業
住民説明会



木更津市 資産管理部 施設建設室

吾妻公園文化芸術施設整備事業とは

【事業の背景・経緯】

◆令和４年(2022年)５月　「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」策定

「みなとまち木更津の再生」

「災害に強いまちづくり」

を目的に、４か所の重点地区を中心に整備

新たなにぎわいの場・安心安全の創造

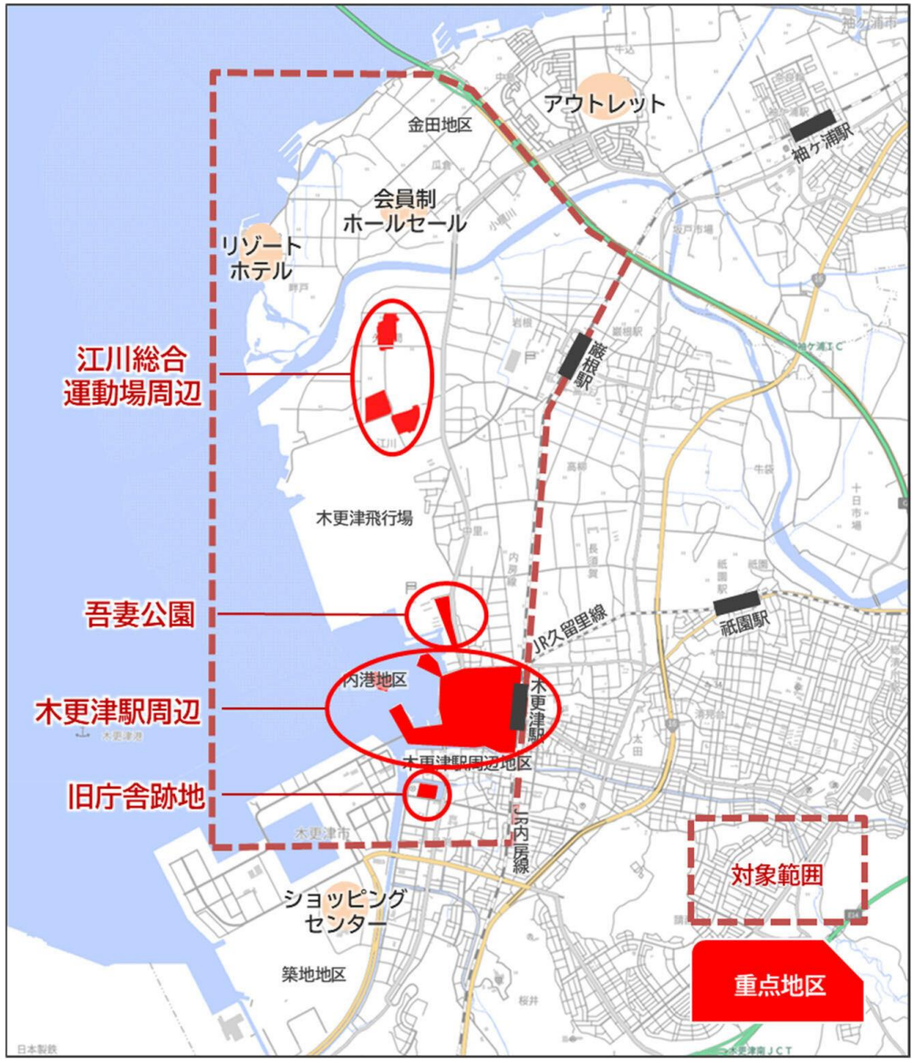
〈整備方針〉

重点地区	整備方針
「江川総合運動場周辺」	防災機能を備えた公園等の施設づくり
「吾妻公園」	文化芸術活動等の機能を中心とした世代間交流の拠点となる施設づくり
「木更津駅周辺」	みなとまち木更津の顔となるにぎわいを創出する施設づくり
「旧庁舎跡地」	多彩な機能を備えた施設づくり

図　まちづくり基本構想の対象範囲と重点地区

３つの機能を複合した
文化芸術施設





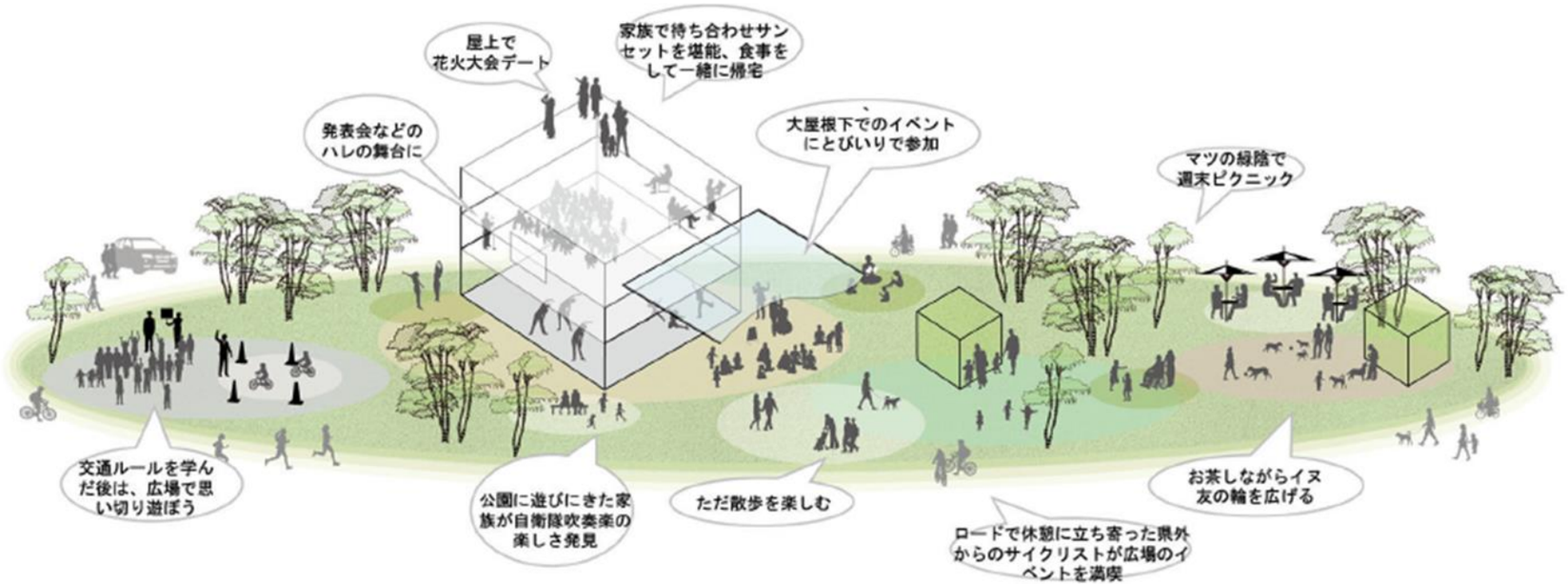
吾妻公園文化芸術施設整備事業とは

◆令和５年(2023年)２月「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」策定
◆令和６年(2024年)３月「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）」策定

〈コンセプト〉

様々な居場所や文化芸術活動の場として、
市民が愛着を育むことのできる公園づくり

- 多様な「日常的居場所」や「文化芸術活動のステージ」を設けるとともに、誰もが愛着を育むことのできる公園
- 子供からお年寄りまで、多世代が様々な目的で集まることができる場とし、思いがけない「交流」や「出会い」のきっかけを作る。



吾妻公園文化芸術施設整備事業とは

◆令和６年度(2024年度)　**基本設計の検討・取りまとめ**
基本設計とは・・・施設の目的や役割、規模、部屋の配置など、全体の骨組みを考えます。

◆令和８年(2026年)６月末　**文化芸術施設、大屋根広場等の建築実施設計完了**
実施設計とは・・・材料や設備の仕様、細かい寸法などを整理し、工事に必要な設計図書を作ります。

基本設計時

施設用途	図書館、ホール、地域交流センター
建築面積	4,000㎡（大屋根含む）
延べ面積	8,300㎡
容積対象面積	7,700㎡
階数	地下1階、地上4階、塔屋1階
構造・規模	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
耐火・準耐火	耐火構造
最高高さ	21.720m（TP+25.5m）
耐震安全性の分類	構造体：II類

実施設計後

施設用途	図書館、ホール、地域交流センター
建築面積	4,182.68㎡（大屋根含む）
延べ面積	8,359.27㎡
容積対象面積	7,893.21㎡
階数	地下1階、地上4階、塔屋1階
構造・規模	鉄筋コンクリート造 一部　鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
耐火・準耐火	耐火構造
最高高さ	20.910m（TP+25.9m）
耐震安全性の分類	構造体：II類

計画地



公園全体図



基本設計時の配置計画



実施設計後の配置計画

：民間集客施設整備予定地

イメージパース



東からの眺望　～富士山を背景に～

イメージパース



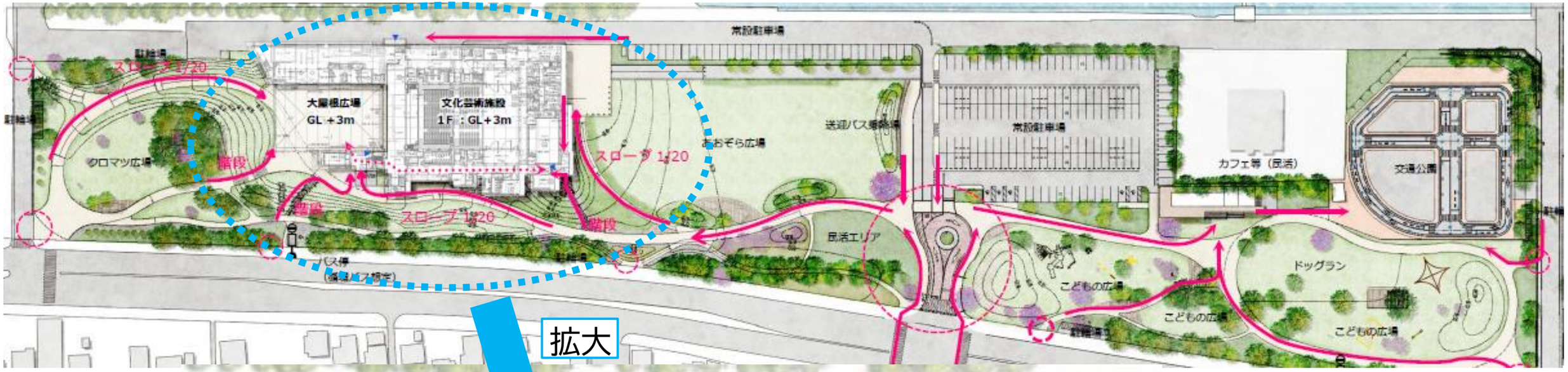
南側からのアプローチ

イメージパース



大屋根広場

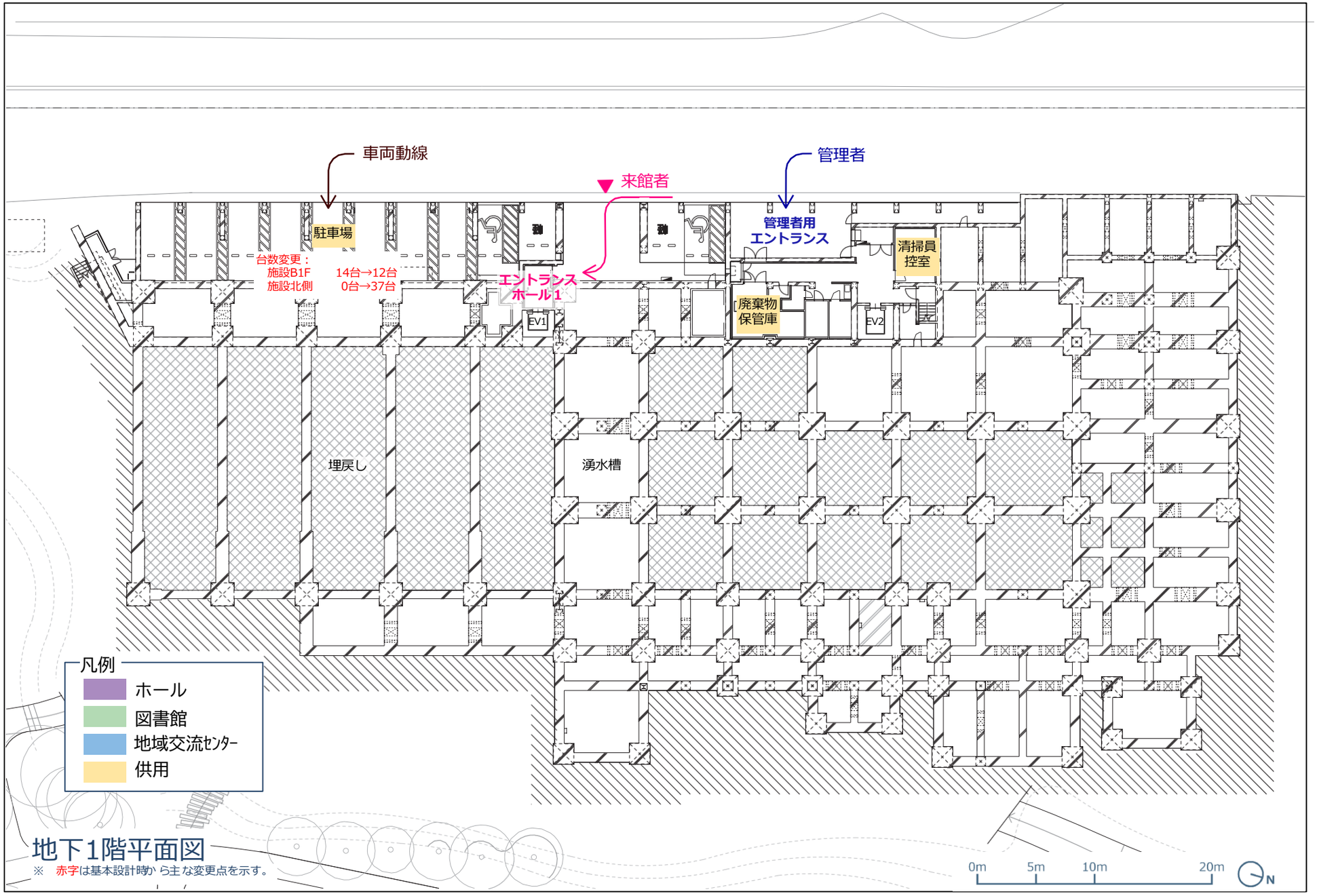
施設への動線


常設駐車場
スロープ1/20
大屋根広場
GL＋3m
文化芸術施設
1F：GL＋3m
おおぞら広場
送迎バス乗降場
常設駐車場
カフェ等（民活）
交通公園
クロマツ広場
階段
スロープ1/20
階段
民活エリア
バス停
（循環バス想定）
こどもの広場
ドッグラン
こどもの広場
こどもの広場

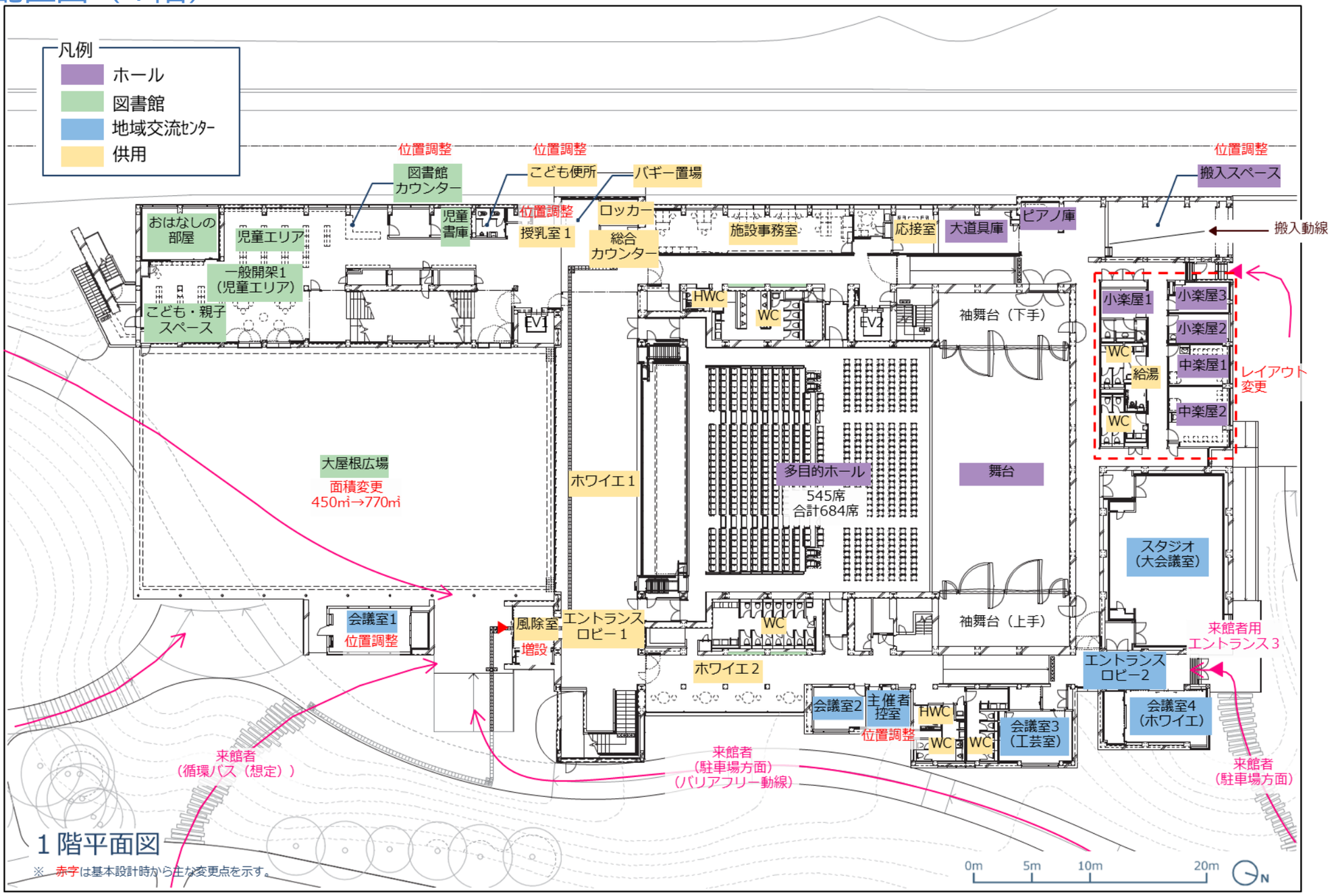
拡大


大屋根広場
GL＋3m
文化芸術施設
1F：GL＋3m
階段
スロープ1/20
階段
スロープ1/20

◆施設内配置図（地下１階）


車両動線
来館者
管理者
駐車場
台数変更：
施設B1F
施設北側
14台→12台
0台→37台
エントランス
ホール１
EV1
管理者用
エントランス
清掃員
控室
廃棄物
保管庫
EV2
埋戻し
湧水槽
凡例
ホール
図書館
地域交流ｾﾝﾀｰ
供用
地下1階平面図
※　赤字は基本設計時から主な変更点を示す。
0m
5m
10m
20m
N

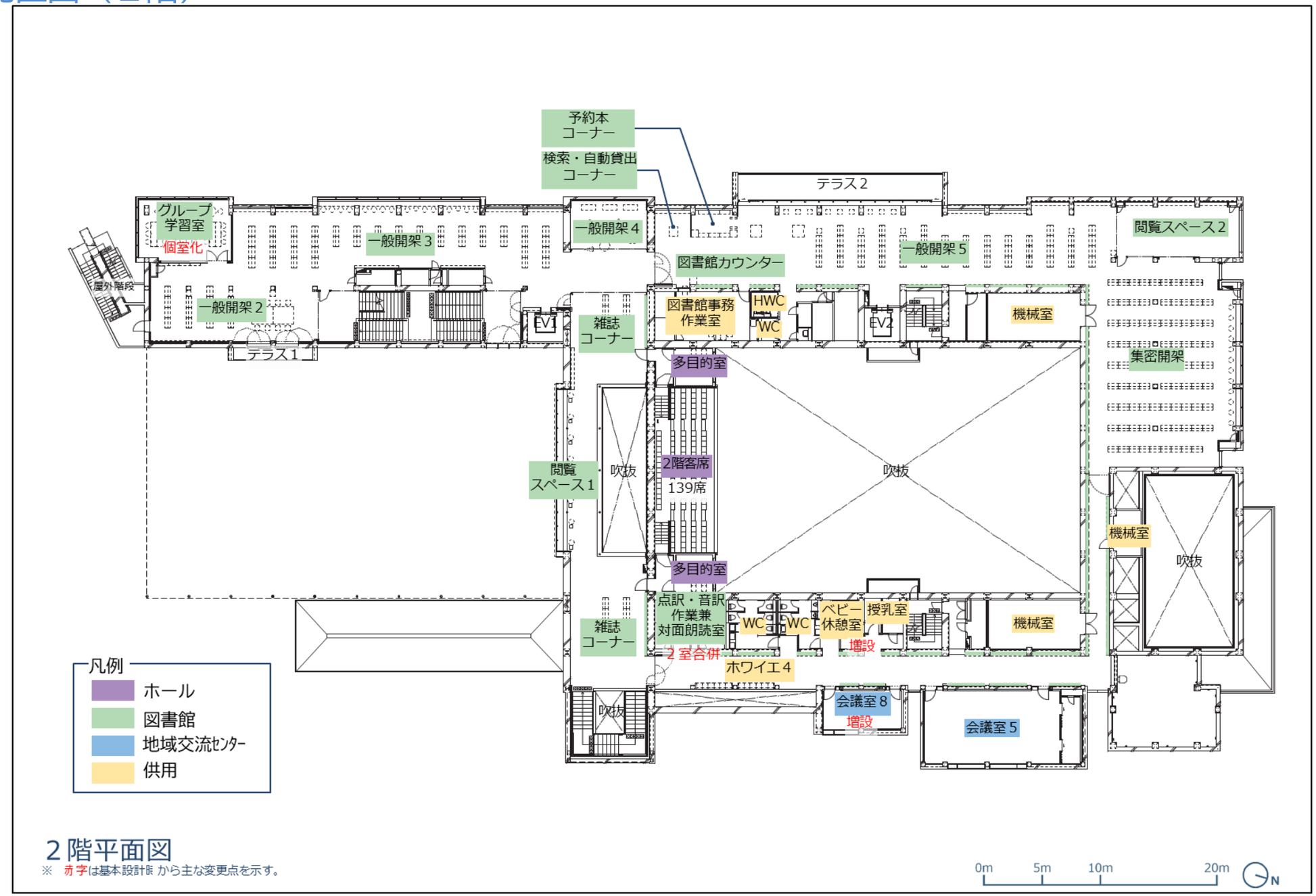
◆施設内配置図（１階）



１階平面図

※　赤字は基本設計時から主な変更点を示す。

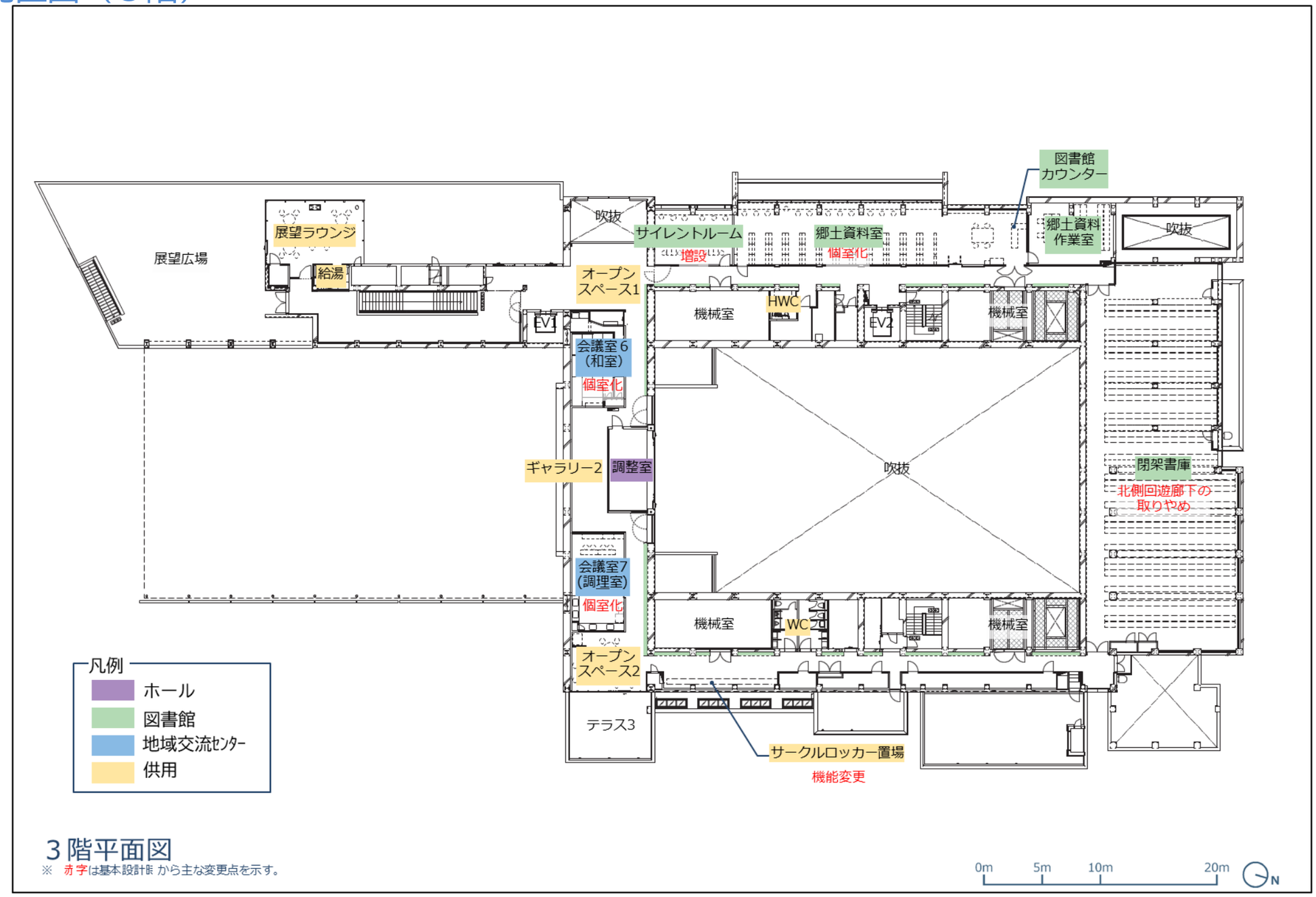
◆施設内配置図（２階）



２階平面図

※　赤字は基本設計時から主な変更点を示す。

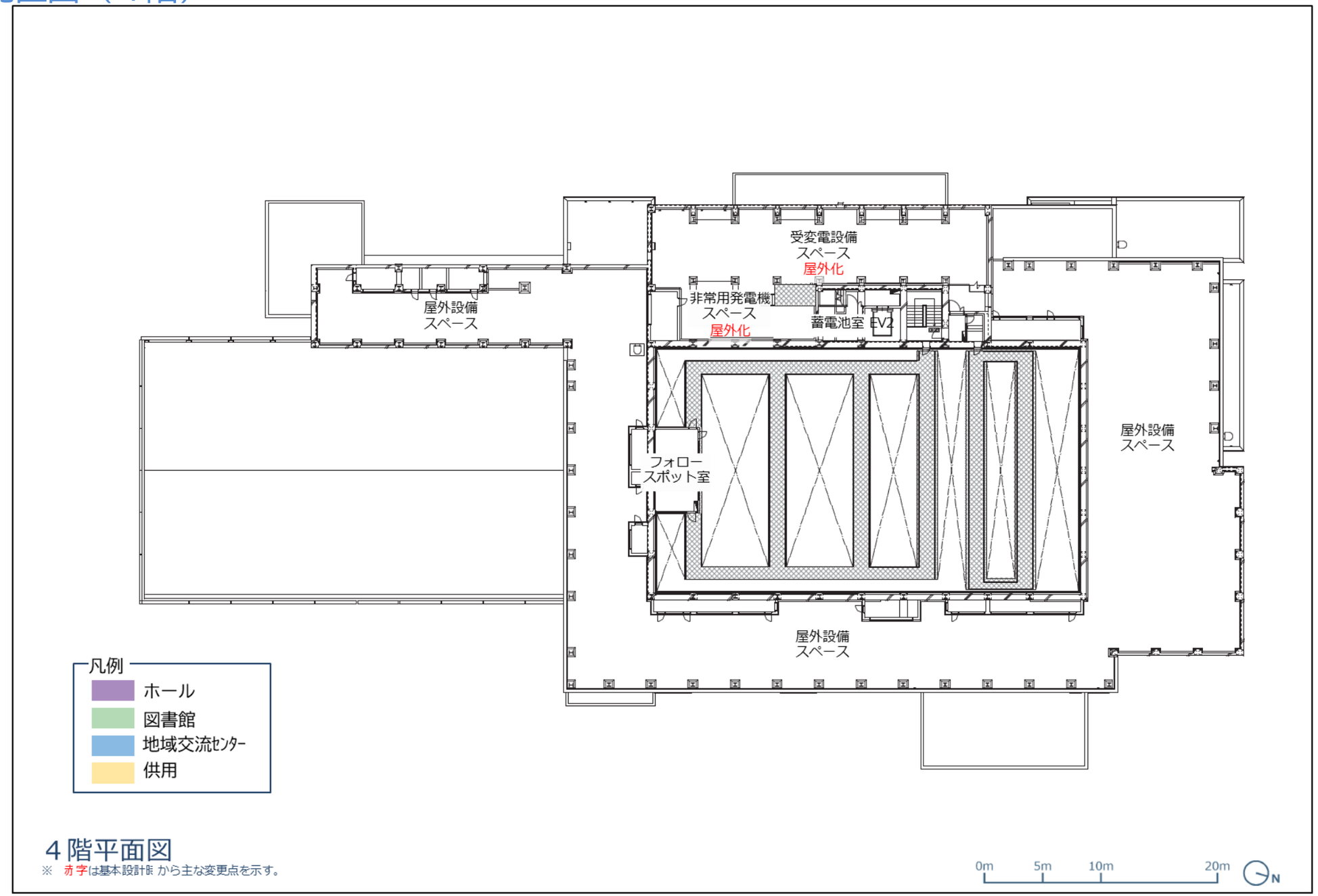
◆施設内配置図（３階）



３階平面図

※　赤字は基本設計時から主な変更点を示す。

◆施設内配置図（４階）



４階平面図

※　赤字は基本設計時から主な変更点を示す。

イメージパース



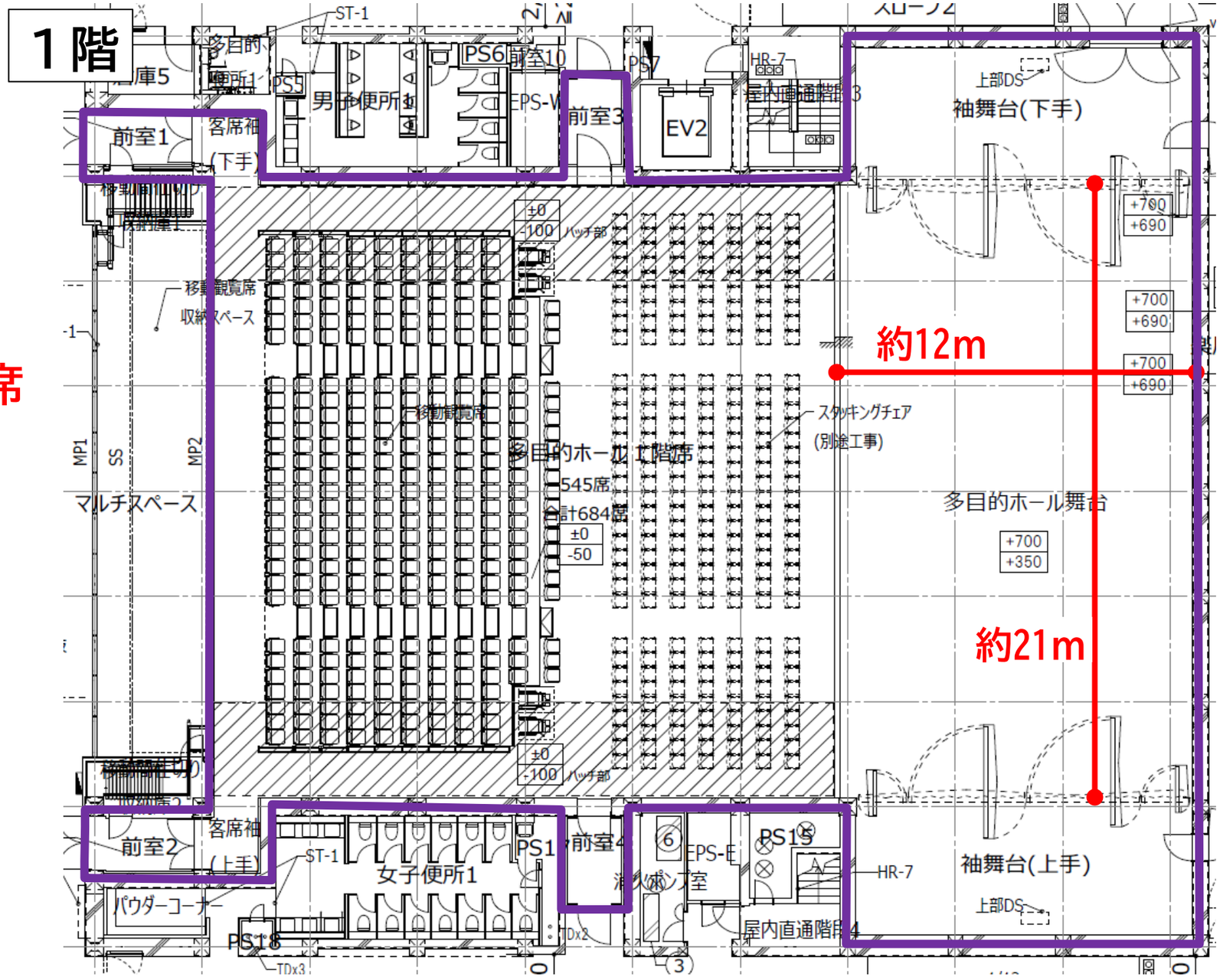
多目的ホール

ホール概要

客席数：684席

1階：545席
（内訳）
- 移動観覧席282席
- スタッキングチェア259席
- 車いす席4席

2階：139席
（内訳）
- 固定席123席
- 多目的室16席

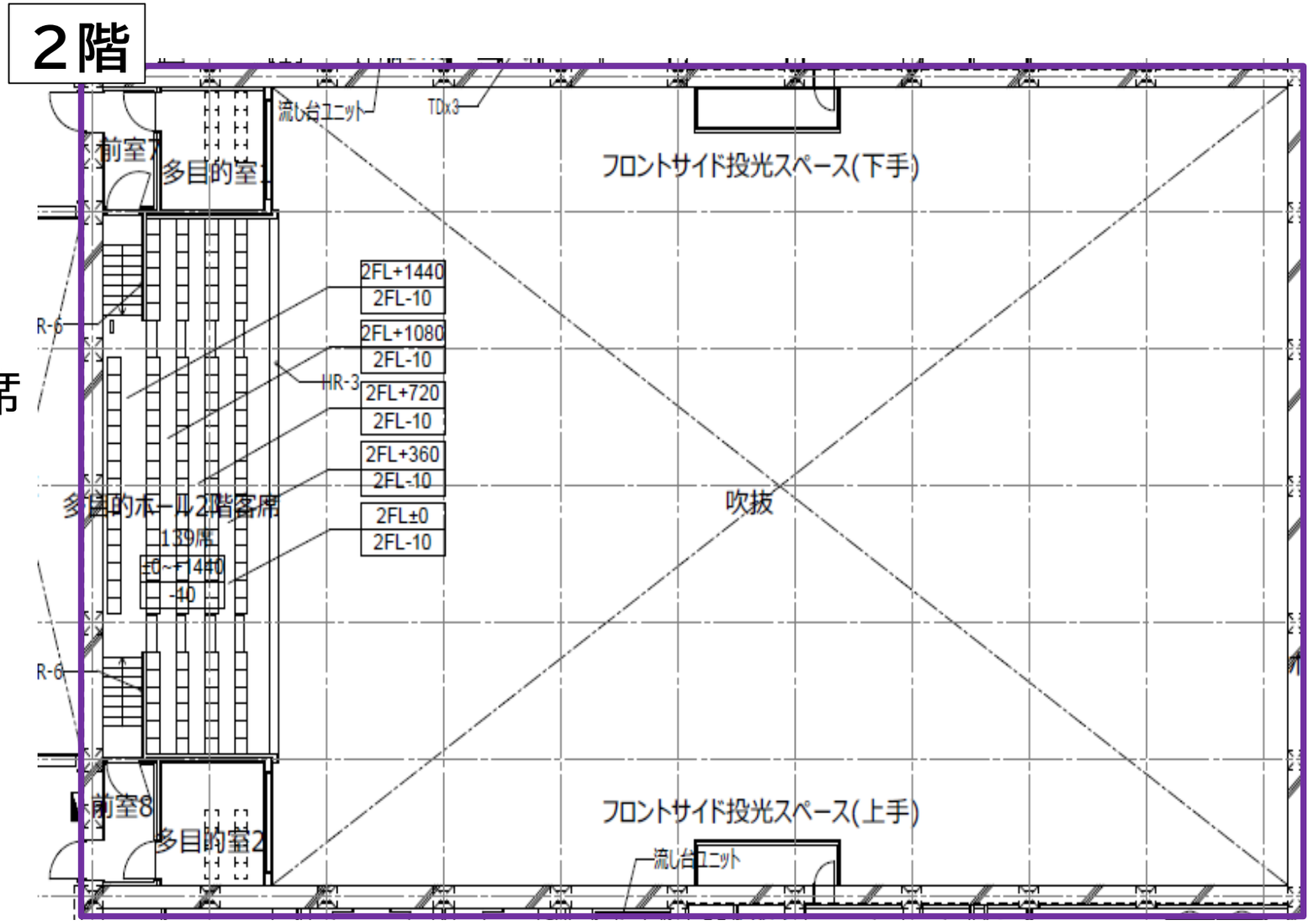


ホール概要

客席数：684席

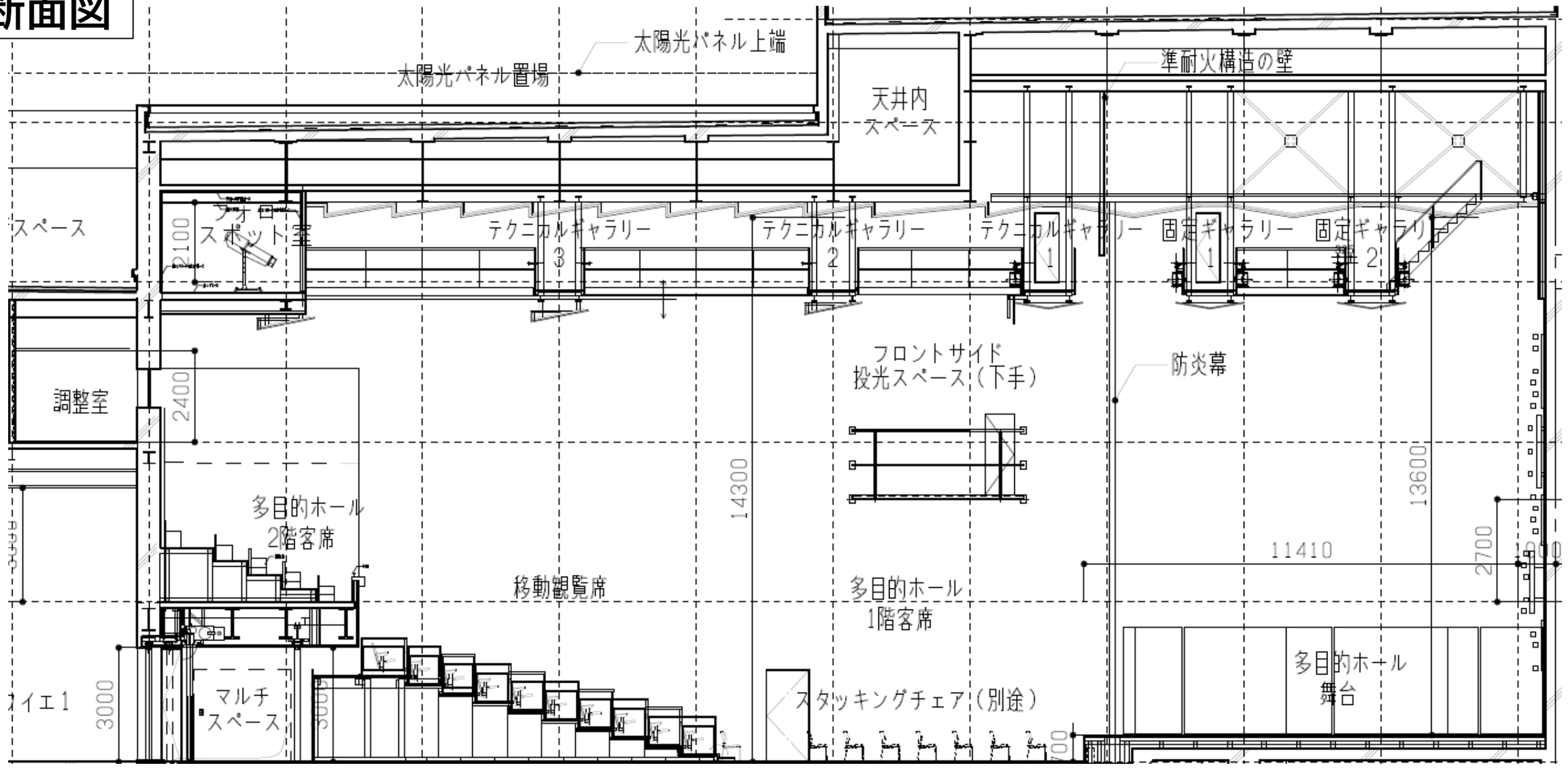
1階：545席
（内訳）
・移動観覧席282席
・スタッキングチェア259席
・車いす席4席

2階：139席
（内訳）
・固定席123席
・多目的室16席



ホール概要

断面図


太陽光パネル上端
太陽光パネル置場
準耐火構造の壁
天井内
スペース
スペース
フォロー
スポット室
2100
テクニカルギャラリー
3
テクニカルギャラリー
2
テクニカルギャラリー
1
固定ギャラリー
1
固定ギャラリー
2
フロントサイド
投光スペース（下手）
防炎幕
調整室
2400
多目的ホール
2階客席
14300
移動観覧席
多目的ホール
1階客席
13600
11410
2700
イエ1
3000
マルチ
スペース
スタッキングチェア（別途）
多目的ホール
舞台

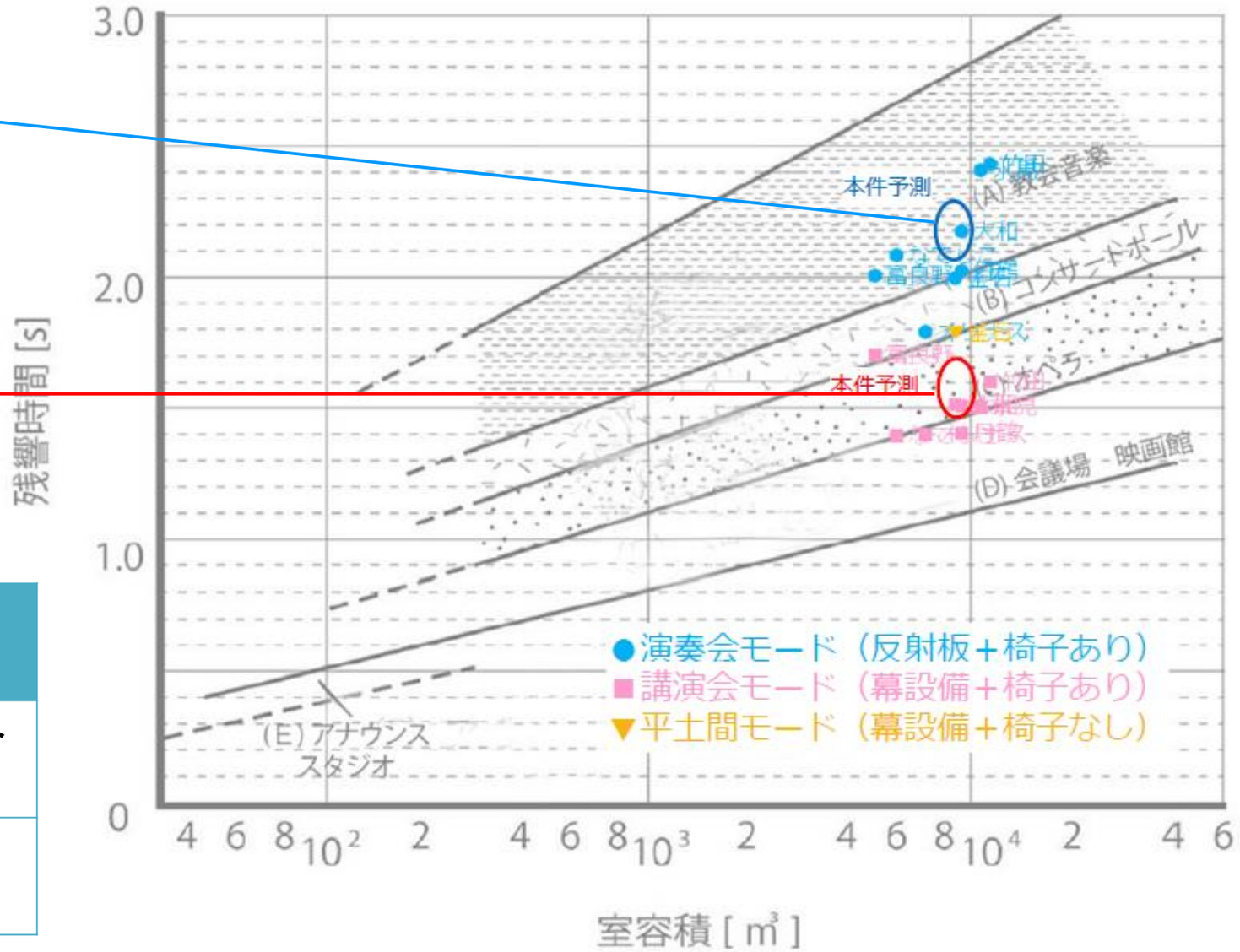
ホール概要

〇演奏会モード予測

残響時間2.2秒程度

〇残響時間1.6秒程度

モードの例	響き	適した演目
演奏会	長め	生楽器の演奏会・合唱など
講演会	短め	バレエ・JAZZ・講演会・演劇など

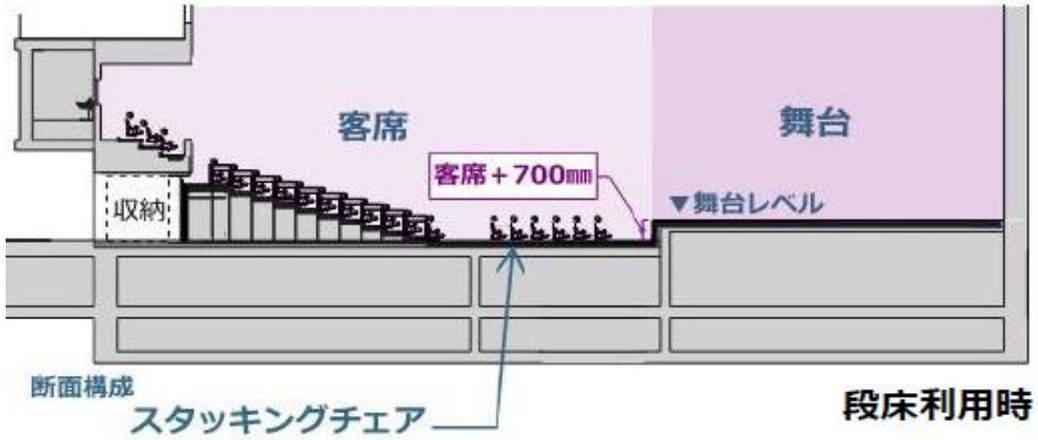


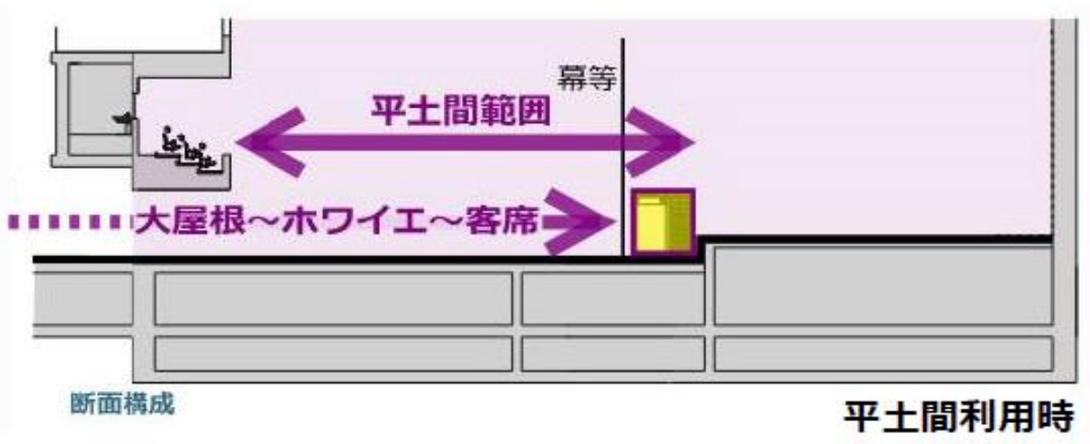
最適残響時間の範囲と他ホール事例（空席時、500Hz）

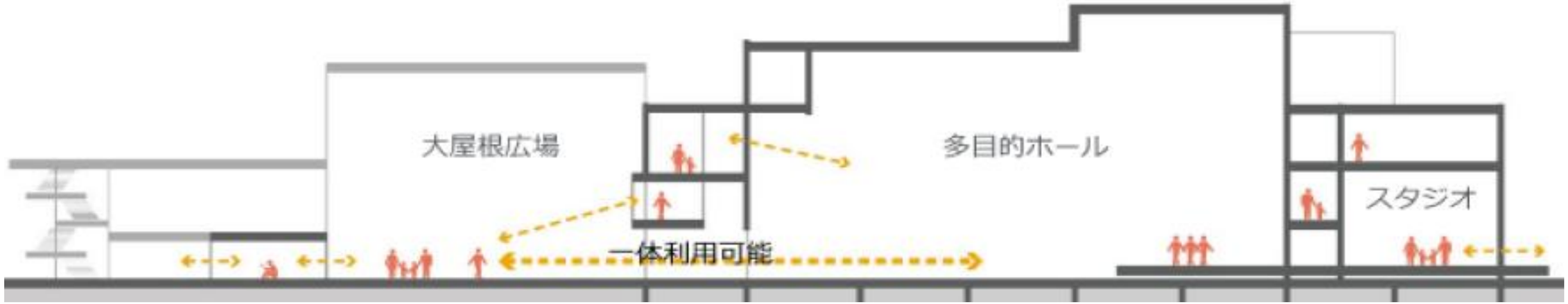
（出典：「建築・環境音響学」前川純一著）

ホール概要

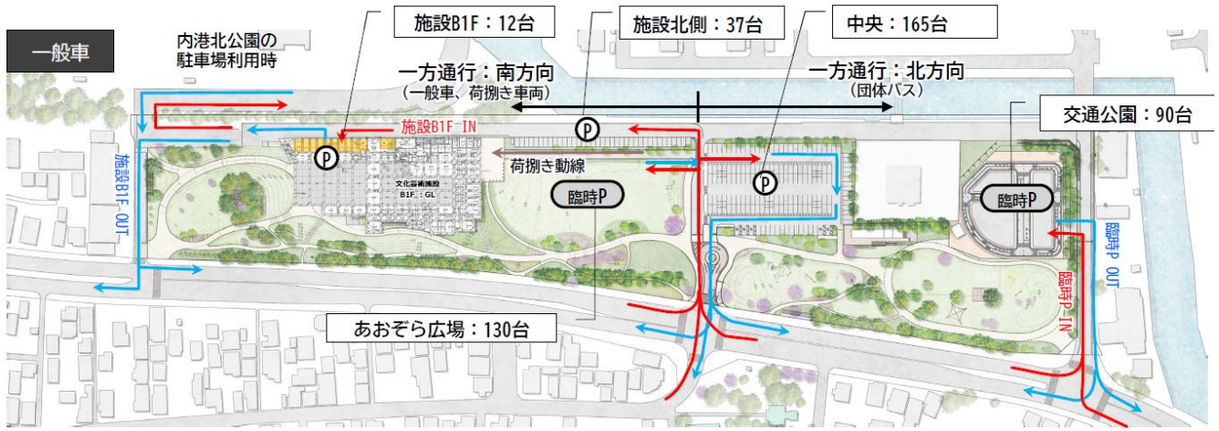
移動観覧席を移動することで大屋根広場との一体的な利用が可能

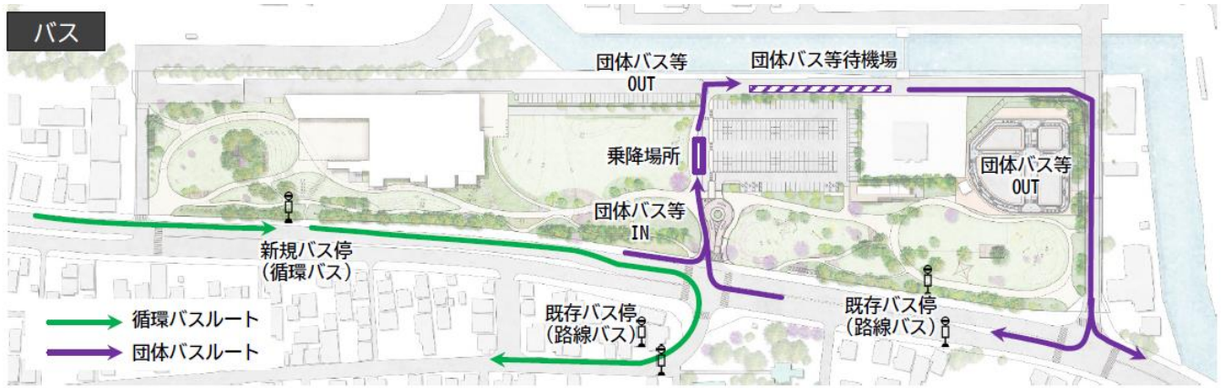


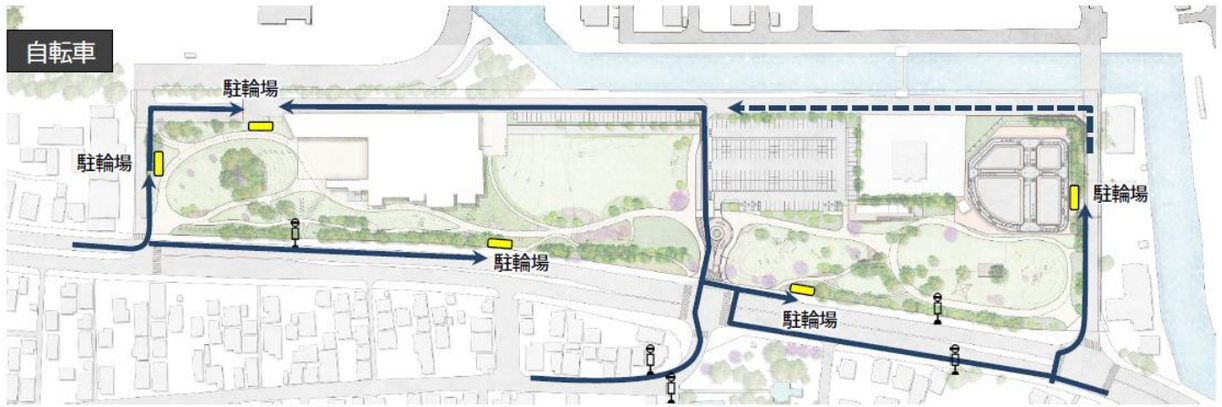




（参考）公園動線計画







駐車場台数　合計434台を予定

【常設駐車場】

①中央	165台
②施設北側	37台
③施設B1F	12台
計	**214台**

【臨時駐車場】

①あおぞら広場	130台
②交通公園	90台
計	**220台**

安心安全の場として

◆避難施設としての位置づけ
- 指定避難所・指定緊急避難場所として整備
- 津波などの災害時の一時的な避難場所として活用

◆浸水に備えた施設計画
- 施設建設部分は盛土（もりど）を行い、地盤を高くする
- ホールや図書館などの主要な機能は、1階以上に配置

◆地震・液状化への備え
- 震度6強以上の地震時でも、沈下や支持力低下による障害が生じないよう、支持層（固い地盤）まで杭を設ける構造（くい打ち基礎）

◆災害時に備えた設備・運用
- 非常用発電機…72時間（3日間）の電力を確保
- 避難スペース…会議室を避難者の受け入れスペースとして活用
- 発熱者対応　…楽屋を体調不良者・発熱者の対応スペースに
- 災害対策拠点…スタジオを災害対策の拠点として利用

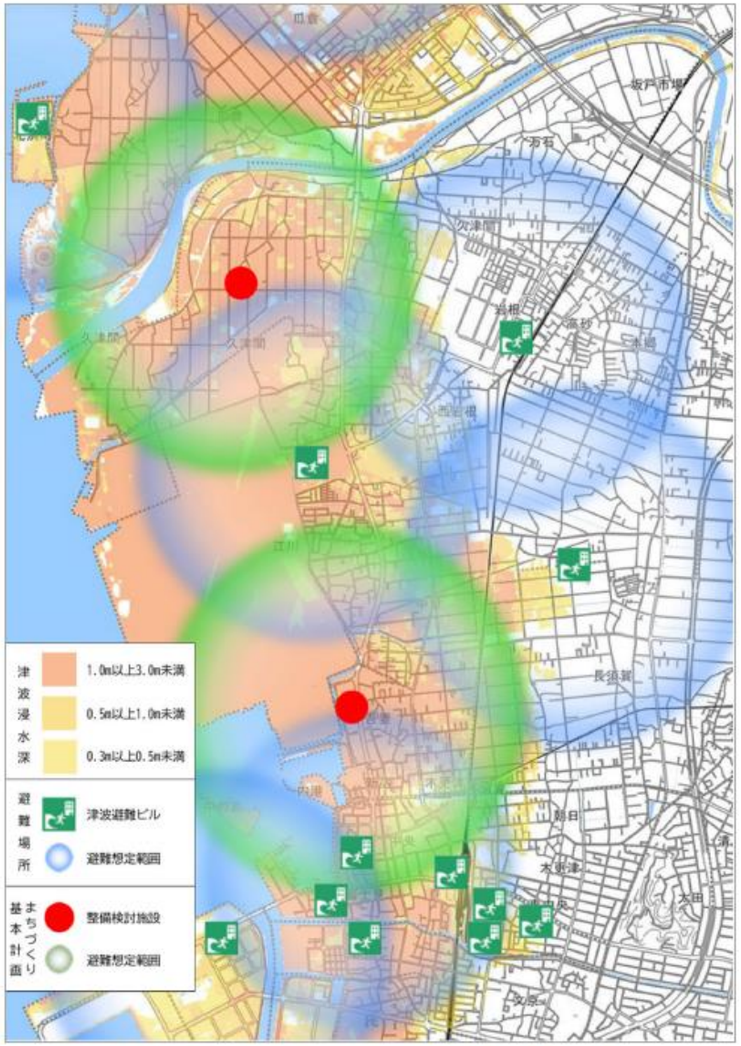


図　海岸域の防災ハザードマップ（浸水域及び浸水深）

※発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」が沿岸に到達した場合に想定される浸水域及び浸水深を表示しています。

事業費と財源

【事業費】

基本設計時点：約105.2億円

↓

現時点見込み：約166.2億円

（うち建築工事は約120億円）

増額：＋約61.0億円

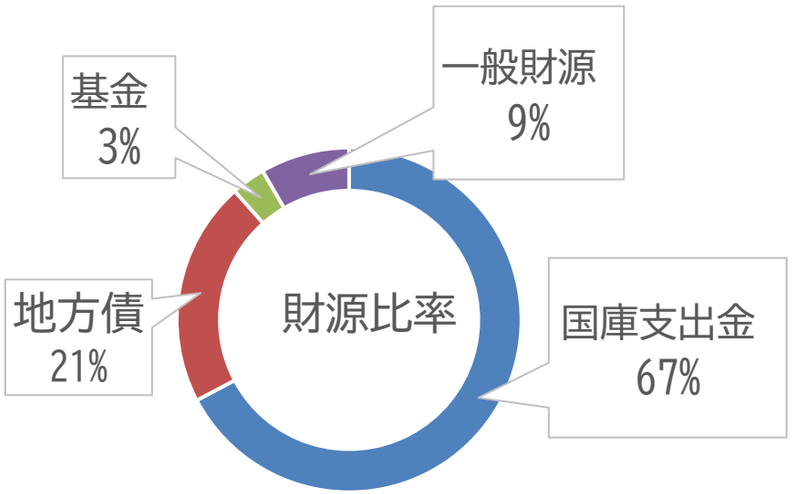
○増額の要因

・資材価格の高騰
・労務単価の上昇
・建設需要の高まり
・設計精査による具体化　等

【財源】

国庫支出金：111.8億円
地方債　　：35.2億円
基金　　：5.3億円
一般財源　：13.9億円

合計　　：166.2億円



※国庫支出金は防衛省の補助金を活用します。



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム

今後の整備スケジュール

区分	令和７年度（2025年度）	令和８年度（2026年度）	令和９年度（2027年度）	令和１０年度（2028年度）	令和１１年度（2029年度）
①文化芸術施設	実施設計		建設工事		供用開始
②公園		実施設計	整備工事		
③民間集客施設		事業者協議	基本・実施設計	整備工事	運営開始